

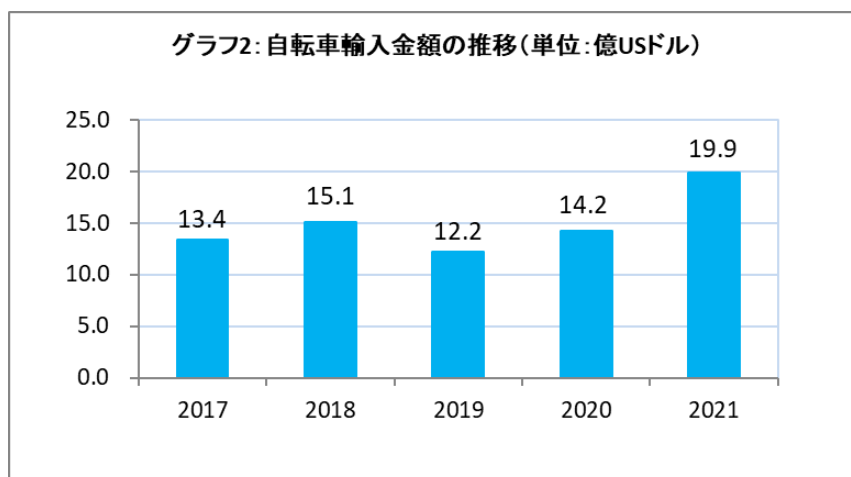
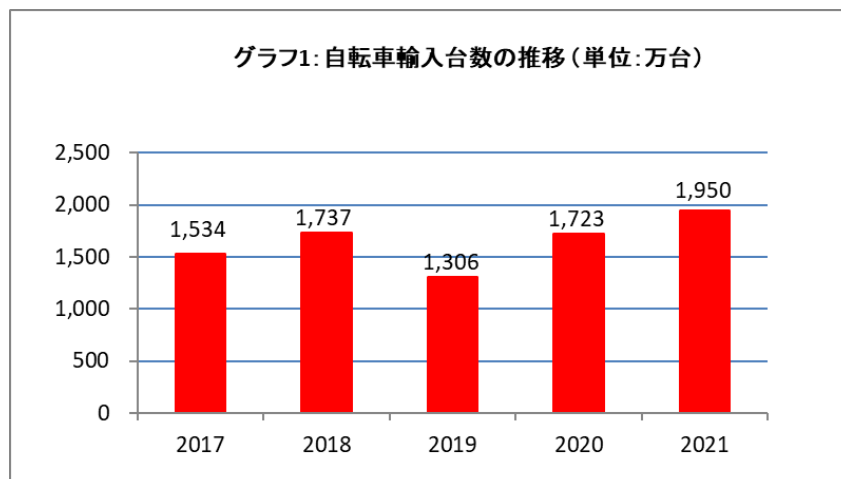
米国自転車輸出入状況-2021

1. はじめに

米国の自転車市場は、輸入自転車が台数及び金額の双方において圧倒的な割合を占めているため、輸入状況で市場の動向を把握することができる。そうしたことから、米国政府の公式ウェブサイト米国国勢調査局 (U. S. Census Bureau) が提供する米国貿易オンライン (USA Trade Online) を利用して 2021 年の自転車輸出台数及び金額を抽出した。

2. 輸入状況

2021 年における米国の自転車輸入台数は、対前年比 13.2% 増の 1,950 万台と 1 割強の増加となった。ここ 5 年間では 2019 年に対前年比 24.8% 減の落ち込みがあったが、2020 年には 2018 年比で 0.8% 減に回復し、2021 年はさらに増加した。



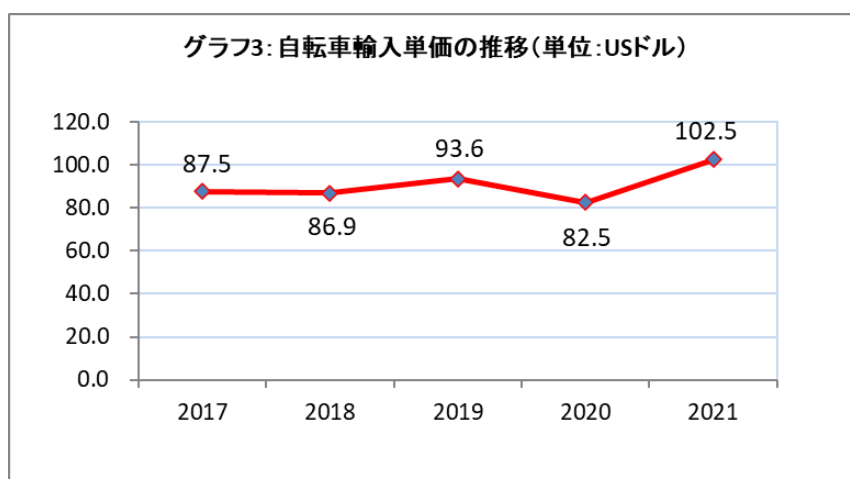
2021年の輸入金額は19億9千万USドルで、対前年比40.1%増と金額ベースでは4割の増加となった。ここ5年間では、台数同様、2019年に対前年比19.2%減の落ち込みがあったが、2020年には16.4%増となり、2021年はさらに4割の増額となった。

2019年は、中国に対する追加関税の影響による下落、その後の2020年は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大、中国国内工場の一時閉鎖と再稼働、米国における自転車需要の急拡大といった動向が反映されている。

ここ5年間における自転車輸入単価は、表1の右欄及びグラフ3のとおりで、ほぼ横這いの状況である。

表1：2017～2021年自転車輸入台数,金額及び単価

西暦	台数	金額 US \$	単価 US \$
2017	15,347,887	1,342,425,921	87.47
2018	17,376,787	1,510,358,439	86.92
2019	13,065,950	1,222,669,330	93.58
2020	17,237,711	1,422,846,804	82.54
2021	19,507,521	1,999,449,213	102.50



3. 車種別輸入状況

米国の輸入における自転車関連の関税番号と車種の区分は表2のとおりである。

表2：米国の輸入における自転車関連関税番号と車種区分

関税番号	車種区分
8712001510	前後の車輪径がともに50cmを超えないもの
8712001520	前後の車輪径がともに50cmを超え、55cmを超えないもの
8712001550	前後の車輪径がともに55cmを超え、63.5cmを超えないもの
8712002500	前後の車輪径がともに63.5cmを超え、付属品未装着状態での重さが16.3kgを超えず、幅4.13cmを超えるタイヤが装着できる設計ではないもの→主としてロードバイク系のもの
8712003500	前後の車輪径がともに63.5cmを超えるもので、その他のもの→MTBを主体とした成人向け自転車が広く含まれる
その他	前後で車輪径の違うもの、他に分類されないものなど3つの関税区分の合計

この区分に基づく2020年と2021年における自転車輸入台数、金額及び単価、さらに、2021年の2020年に対する比率（対前年比）は、表3のとおりである。表の右欄「対前年比」の赤字が示すとおり、2021年においては8712001510の台数が2020年を下回ったが、それ以外では単価を含めた全てにおいて前年を上回る数値となった。

表3：2020年&2021年 関税番号別 自転車輸入台数,金額,単価及び対前年比

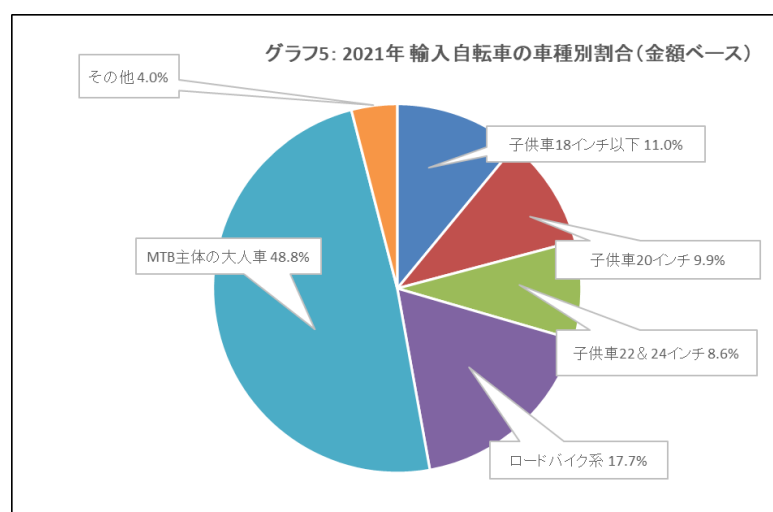
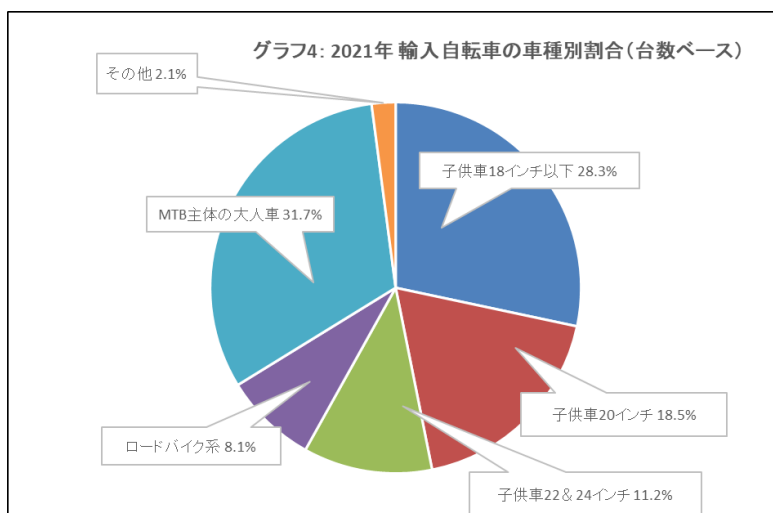
関税番号	2020年			2021年			対前年比		
	台数	金額 US \$	単価 US \$	台数	金額 US \$	単価 US \$	台数	金額	単価
8712001510	5,903,537	197,631,475	33.48	5,527,256	219,504,204	39.71	-6.4%	11.1%	6.24
8712001520	3,601,255	152,411,979	42.32	3,611,473	197,772,736	54.76	0.3%	29.8%	12.44
8712001550	1,709,354	105,677,161	61.82	2,194,276	172,400,745	78.57	28.4%	63.1%	16.75
8712002500	1,195,700	256,625,226	214.62	1,585,180	353,337,974	222.90	32.6%	37.7%	8.28
8712003500	4,508,132	648,039,277	143.75	6,183,338	976,130,964	157.86	37.2%	50.6%	14.12
その他	319,733	62,461,686	195.36	405,998	80,302,590	197.79	27.0%	28.6%	2.43
合計	17,237,711	1,422,846,804	82.54	19,507,521	1,999,449,213	102.50	13.2%	40.5%	19.95

2021年における車種別割合はグラフ4及びグラフ5のとおりで、グラフ化にあたって

は、便宜上、8712001510を（子供車 18 インチ以下）、8712001520を（子供車 20 インチ）、8712001550を（子供車 22 & 24 インチ）、8712002500を（ロードバイク系）、8712003500を（MTB 主体の大人車）とした。

車種別割合は、台数ベースでは 24 インチ以下の子供車が全体の 6 割近くを占めているのに対し、MTB 主体の大人車が 3 割強で、ロードバイク系は 1 割弱となっている。

一方、金額ベースでは MTB 主体の大人車が 5 割弱、ロードバイク系が 2 割弱と全体の 7 割弱を占めている。

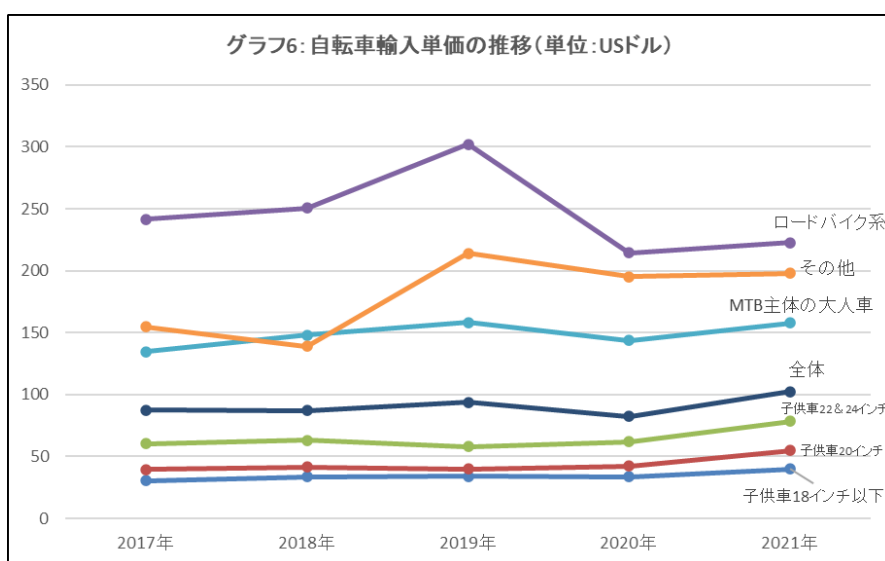


過去5年間における輸入単価は、表4のとおりである。2017年から2021年にかけての推移はグラフ6のとおりで、8712002500（ロードバイク系）が2020年に下降したが、2021年若干ながら上向いている。

なお、推移のグラフ化にあたってはグラフ4及びグラフ5同様の車種名を用いた。

表4：2017年～2021年自転車輸入単価の推移（単位：USドル）

関税番号	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
8712001510	30.43	33.46	33.99	33.48	39.71
8712001520	39.47	41.34	40.06	42.32	54.76
8712001550	60.41	63.03	58.09	61.82	78.57
8712002500	241.63	250.61	302.31	214.62	222.90
8712003500	134.52	148.15	158.28	143.75	157.86
その他	154.86	138.88	214.07	195.36	197.79
合計	87.45	87.02	93.58	82.54	102.50



4. 国別輸入状況

2021年における自転車輸入相手国のうち主要3か国（中国、カンボジア、台湾）の関税番号別輸入台数、金額及び単価は表5のとおりである。

台数ベースでは、中国が圧倒的に多いのは従来通りであるが、2020年にカンボジアが台数で台湾を追い抜いており、2021年も同様の順位となった。カンボジアからの輸入台数は、8712003500（MTB主体の大人車）が全体の5割強を占めるのが特長的である。

表5：2021年関税番号別自転車輸入主要3か国の台数、金額及び単価

関税番号	中 国			カンボジア			台 湾		
	台数	金額 US \$	単価US \$	台数	金額 US \$	単価US \$	台数	金額 US \$	単価US \$
8712001510	5,368,408	198,321,189	36.94	100,488	10,292,785	102.43	21,197	2,856,635	134.77
8712001520	3,269,723	161,999,562	49.55	141,272	15,939,956	112.83	181,387	17,429,508	96.09
8712001550	2,016,163	140,258,434	69.57	146,388	19,444,728	132.83	12,655	2,720,106	214.94
8712002500	1,094,177	135,932,705	124.23	169,668	40,118,780	236.45	191,199	143,455,842	750.30
8712003500	4,842,781	417,910,522	86.30	634,286	141,122,839	222.49	390,742	330,236,662	845.15
その他	277,485	21,644,861	78.00	17,053	7,553,936	442.97	70,319	36,762,444	522.80
合計	16,868,737	1,076,067,273	63.79	1,209,155	234,473,024	193.91	867,499	533,461,197	614.94

金額ベースでは、中国に次いで台湾が上位で、カンボジアの2倍以上の金額である。中でも8712002500（ロードバイク系）と8712003500（MTB主体の大人車）が金額、単価ともに突出している。

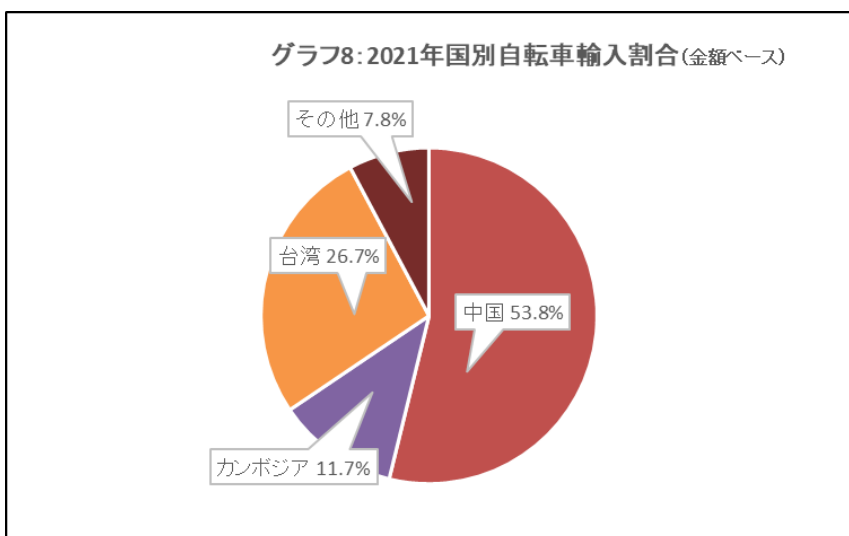
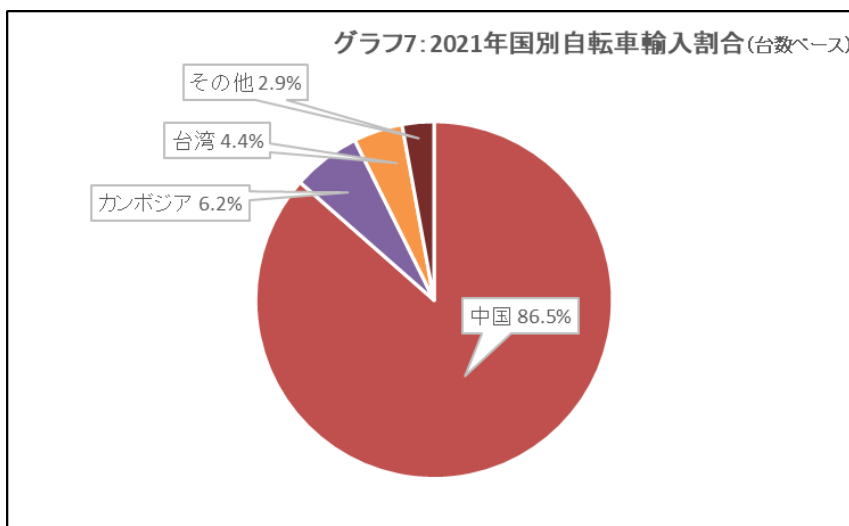
この主要3か国（中国、カンボジア、台湾）の国別輸入台数及び金額の比率を表したのが表6であり、グラフ化したのがグラフ7（台数ベース）及びグラフ8（金額ベース）である。

台数ベースでは、中国が9割近くを占めており、カンボジアと台湾を合わせると、実に全体の97.1%となっている。その他には、インドネシア0.9%、ベトナム0.5%、フィリピン0.5%などが含まれている。

一方、金額ベースでは、中国が5割強に対し、台湾3割弱、カンボジア1割強と、台数ベースとは逆転しているが、金額ベースでも、中国、台湾、カンボジアの3か国で全体の92.2%と高い比率を占めている。その他にはインドネシア2.6%、ベトナム1.8%、フィリピン0.7%などが含まれている。

表6：2021年自転車輸入主要3か国台数,金額及び比率

国名	台数	金額 US \$	比率	
			台数	金額
中国	16,868,737	1,076,067,273	86.5%	53.8%
カンボジア	1,209,155	234,473,024	6.2%	11.7%
台湾	867,499	533,461,197	4.4%	26.7%
その他	562,130	155,447,719	2.9%	7.8%
合計	19,507,521	1,999,449,213	100.0%	100.0%



5. 電動自転車等の輸入状況（参考）

米国の輸入における電動自転車関連の関税番号と車種の区分は表7のとおりである。

関税番号	車種区分
8711	モーターサイクル（モペット含む）及び補助モーター付き自転車（サイドカー付きまたはなし）、サイドカー
87116000	・駆動電動モーターを有するもの
8711600050	・出力が250Wを超えないもの
8711600090	・その他のもの

この関税区分には電動オートバイや電動キックボード等も含まれているので、注意が必要である。なお、2019年7月に87116000が細分化され、8711600050（駆動電動モーターの出力が250Wを超えないもの）と8711600090（その他のもの）の二つの下位区分が設けられた。そこで、ここでは、便宜上8711600050の数値を「電動自転車等」として示すこととする。

下位区分が細分化された2019年から2021年における電動自転車等輸入台数、金額及び単価

西暦	台数	金額 US \$	単価 US \$
2019	691,517	210,809,988	304.85
2020	3,121,042	518,342,812	166.08
2021	1,101,661	458,963,149	416.61

は、表8のとおりである。

また、2019年対2020年、2020年対2021年の比率は表9のとおりである。表9が示すとおり、2020年は台数ベースで4.5倍強、金額ベースで2.4倍強に増加している、一方、2021年は赤字のとおり、台数ベースで6.5割弱、金額ベースで1割強と、大きく減少している。

2019年			2020年			2019/2020比率		
台数	金額 US \$	単価 US \$	台数	金額 US \$	単価 US \$	台数	金額	単価
691,517	210,809,988	304.85	3,121,042	518,342,812	166.08	351.33%	145.88%	-138.77
2020年			2021年			2020/2021比率		
台数	金額 US \$	単価 US \$	台数	金額 US \$	単価 US \$	台数	金額	単価
3,121,042	518,342,812	166.08	1,101,661	458,963,149	416.61	-64.70%	-11.46%	250.53

6. 電動自転車等の国別輸入状況（参考）

2021年における電動自転車等の輸入相手国のうち上位3か国（中国、台湾、オランダ）の輸入台数、金額、単価及び比率は表10のとおりである。

台数ベースでは、中国が圧倒的に多いのは「関税番号871200」の自転車同様である。また、それに続く台湾も自転車と同様であるが、第3位のオランダについては2021年に限

っており、2019年や2020年においては、ドイツやベトナム等からの台数がオランダからよりも上回っている。

金額ベースでは、台湾が中国の1.5倍強である。平均単価からも中国からの輸入電動自転車等はかなりの低価格商品であることが窺える。

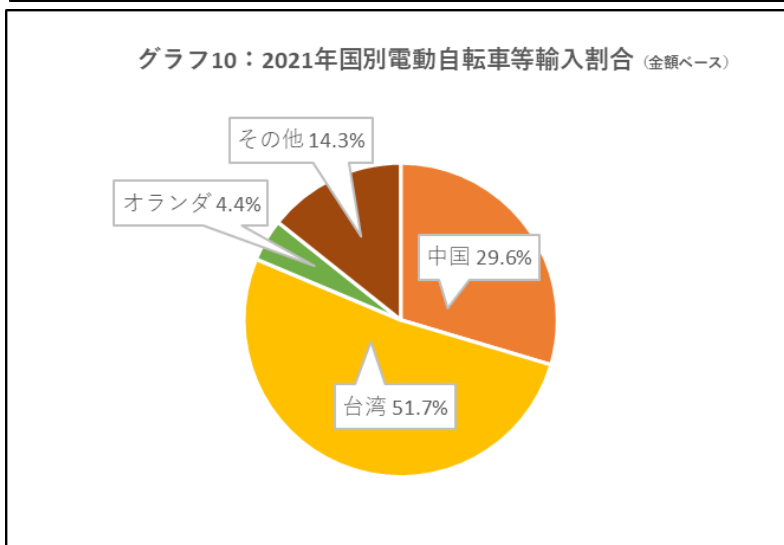
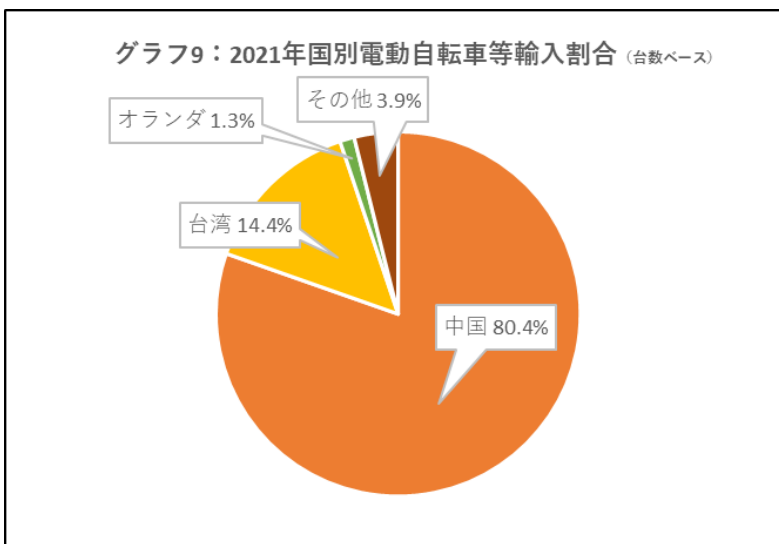
表10：2021年電動自転車等輸入上位3か国台数,金額,単価及び比率

国名	台数	金額 US \$	単価 US \$	比率	
				台数	金額
中国	885,492	135,896,274	153.47	80.4%	29.6%
台湾	159,179	237,424,859	1,491.56	14.4%	51.7%
オランダ	14,129	19,996,166	1,415.26	1.3%	4.4%
その他	42,861	65,645,850	1,531.60	3.9%	14.3%
合計	1,101,661	458,963,149	416.61	100.0%	100.0%

さらに、この上位3か国（中国、台湾、オランダ）の比率をグラフ化したのがグラフ9（台数ベース）及びグラフ10（金額ベース）である。

台数ベースでは、中国が8割強を占めており、台湾とオランダを合わせると、実に全体の96.1%となっている。その他には、カンボジア1.1%、ベトナム0.9%、イギリス0.7%などが含まれている。

一方、金額ベースでは、中国が3割弱に対し、台湾は5割強と前述のとおり、台数ベースとは逆転しているが、金額ベースでも、中国、台湾、オランダの3か国で全体の85.7%と9割近い比率を占めている。その他にはドイツ3.9%、ベトナム3.2%、スペイン2.0%などが含まれている。



7. 自転車輸出状況

台数は少ないが、米国から輸出される自転車もある。米国の輸出における自転車関連の関税番号と車種の区分は表11のとおりである。

関税番号	車種区分
8712001070	前後の車輪径がともに63.5cmを超えないもの
8712002600	前後の車輪径がともに63.5cmを超えるもの
8712006000	その他のもの

2019年から2021年における自転車輸出台数、金額及び単価は、表12のとおりである。

2021年の輸出台数は23万台強、金額は1億1千万USドルで、台数ベースでは対前年比42.1%増、金額ベースでも21.1%増となっている。

西暦	台数	金額US\$	単価US\$
2019	203,933	102,719,282	503.69
2020	164,908	95,971,980	581.97
2021	234,358	116,235,442	495.97

2021年における関税番号別自転車輸出台数、金額及び単価は、表13のとおりで、輸出単価は8712001070（前後の車輪径がともに63.5cmを超えないもの）に対し、8712002600（前後の車輪径がともに63.5cmを超えるもの）は3.6倍強の数値となっている。

関税番号	台数	金額US\$	単価US\$
8712001070	78,440	14,083,821	179.55
8712002600	125,902	82,364,011	654.19
8712006000	30,016	19,787,610	659.24
合計	234,358	116,235,442	495.97

2021年における自転車輸出相手国のうち主要3か国（カナダ、チリ、メキシコ）の関税番号別輸出台数、金額及び比率は、表14のとおりである。表の右欄「比率」のとおり、台数ベースでカナダが75.1%、金額ベースでもカナダが70.3%といずれも隣国カナダが7割強を占めている。

国名	8712001070		8712002600		8712006000		合計		比率	
	台数	金額US\$	台数	金額US\$	台数	金額US\$	台数	金額US\$	台数	金額
カナダ	56,286	9,812,912	111,829	62,337,865	7,797	9,590,741	175,912	81,741,518	75.1%	70.3%
チリ	3,711	300,879	4,608	884,631	1,069	398,597	9,388	1,584,107	4.0%	1.4%
メキシコ	3,945	578,390	341	520,310	1,678	1,158,730	5,964	2,257,430	2.5%	1.9%
その他	14,498	3,391,640	9,124	18,621,205	19,472	8,639,542	43,094	30,652,387	18.4%	26.4%
合計	78,440	14,083,821	125,902	82,364,011	30,016	19,787,610	234,358	116,235,442	100.0%	100.0%

このほか「その他」には、台数ベースでベネズエラ1.2%、ケイマン諸島1.1%、ドイツ1.0%など、金額ベースでシンガポール2.2%、日本2.1%、オーストラリア1.97%などが、それぞれ含まれている。

以上

統計出所：米国貿易オンライン